

2023 年度 第 1 回 6 月東大本番レベル模試 地理 採点基準

■ 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは 0 点。

■ 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

■ 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは 1 点減点。
- ② 下線の付け忘れは 1 問につき 1 点減点。
- ③ 指定語句不使用は，指定語句 1 つにつき 1 点減点。
(解答中のどこかで使用していればよい。
加点ポイントの脱落による減点がある場合は，それ以上の減点は不要。)
- ④ 字数オーバーは 1 点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は 0 点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

■ 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実に誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

■ 設問別加点基準

- 1) _____ 部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

第 1 問 (20 点)

設問 A

(1) 2 点

大陸プレート同士が衝突する境界で、褶曲による隆起が生じた。(1 行)

(別解) イランプレートがアラビアプレートの衝突を受けて褶曲した。

【加点ポイント】

①<2 点> 【プレートの運動】

○大陸プレート同士が衝突した (※いずれかを「海洋プレート」とした場合は加点しない)

○イランプレートがアラビアプレートの衝突を受けた

／アラビアプレートがイランプレートにぶつかった

→ (ユーラシアプレート／ユーラシアプレートの縁辺 でも可)

△「プレート同士の衝突」のみ (※プレートの「種類」や「名称」が無い) → △1 点

(2) 1 点

○なつめやし／ナツメヤシ

×なつめ／デーツ

(3) 4 点

乾燥気候下で、山地での降水が浸透した地下水を蒸発させずに耕地に送る灌漑用の地下水路であり、内部の手入れ用の縦穴を持つ。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【自然環境】

○乾燥気候／降水量が少ない／乾燥している／砂漠地帯／蒸発量が多い

②<1 点> 【縦穴を持つ施設の役割】

○地下水路／山地の地下水を耕地 (集落) に送る／灌漑用水を地下から送る

×「カナート」のみで「地下の送水」が読み取れない

③<1 点> 【②が地下である理由】

○蒸発を防ぐ／水量の減少を防ぐ

④<1 点> 【縦穴の機能】

○内部の手入れ用 (補修) ／ (水路建設時の) 掘削用／通風

(4) 3 点※ [指定語句] 原油価格 地下水位 2 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

深井戸が増えているが、過剰揚水による地下水位の低下が懸念され、また原油価格の高騰時には、ポンプ動力の費用負担が高まる。(2 行)

①<1 点> 【競合する施設】

○深井戸/井戸/動力ポンプにより揚水する井戸

②<1 点> 【①の問題点】

○過剰揚水/地下水位の低下/地下水の減少

③<1 点> 【その他】

○原油価格高騰時のポンプ動力の費用負担上昇が問題となる

○産油国で原油価格が安いので①が普及した/原油価格低迷時に①が多く建設された

設問 B

(1) 完答 1 点

a - トルコ b - サウジアラビア

(2) 3 点

センターピボット農法の導入で砂漠国での小麦生産が可能となった。しかし、地下水の枯渇や重い財政負担から生産が規制された。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)「b - サウジアラビア」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【小麦生産の推移】

○(1980 年代に)小麦生産が可能となったがその後生産が規制された

○(1980 年以降)生産量が急増したが(1990 年代以降は)徐々に減少している

※一時期「増えた」がその後「減っている」ことが全体として読み取れれば加点する

②<1 点> 【生産が増えた理由】

○センターピボットの導入/センターピボットによる灌漑/自給を目指した農業政策の採用

③<1 点> 【生産が減った理由】

○地下水の枯渇/水不足

○重い財政負担/費用がかかり過ぎる/莫大な補助金

(3) 2 点

21 世紀以降の戦争や内戦によって、生産手段の荒廃が著しい。(1 行)

(次ページに続く)

【加点ポイント】

<2 点> 【共通する国家情勢】

- 戦乱（戦争）／内戦／政情が不安定
 - テロや過激派組織による生産手段の荒廃
- } ○いずれかで 2 点

(4) 4 点

a には製粉などの食品工業が多く立地し、国内供給分を超過した小麦を加工して盛んに輸出しており、小麦の主要輸入先であるロシア・ウクライナの紛争は原料調達の費用や安定性に影響を与える。

【加点ポイント】

★(1)「a-トルコ」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【輸出量増大の背景 1】

- 製粉業の立地／食品工業が盛ん／小麦粉の輸出増大／小麦を加工して輸出

②<1 点> 【輸出量増大の背景 2】

- 国内供給分を超過した小麦を輸出／余剰小麦を輸出／輸入分の国産小麦が余る

③<1 点> 【2022 年以降の課題】

- 輸入小麦量の減少／輸入小麦の価格高騰／輸入小麦の調達が不安定になる

④<1 点> 【③の要因】

- ロシア・ウクライナの紛争／ロシアによるウクライナ侵攻
- 輸入先の大半を占めるロシアからの小麦輸入が難しくなる
- 戦乱によりウクライナでは小麦の生産（輸出）が難しい／ウクライナからの小麦輸入が困難

第 2 問 (20 点)

設問 A

(1) 1 点 (完答)

a-ライ麦 b-小麦 c-ミレット

(2) 2 点

寒さや酸性土壌に強く、黒パン、ウォッカの原料や飼料になる。(1 行)

【加点ポイント】

★(1)「a-ライ麦」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【栽培条件について】

- 寒さに強い／低温でも栽培可能／冷涼でも育つ／冷帯でも栽培できる
- 酸性土壌に強い／やせた土壌でも育つ

②<1 点> 【用途について】

- パン／ウォッカ（ウオツカ／ウオトカ）／蒸留酒（酒）／ビール
- 飼料

(3) 3 点※ [指定語句] 導水 端境期 2 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

湿潤地域からの導水で乾燥地域に灌漑農地を広げたため干ばつが多く、端境期の北半球への小麦輸出量が減れば、価格が高騰する。

【加点ポイント】

★(1)「b - 小麦」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【オーストラリアの小麦生産の特徴】

- 湿潤地域からの導水による／山脈にトンネルを通して導水している
- スノーウィーマウンテンズ計画により導水して灌漑している
／スノーウィー川から導水して小麦生産を拡大させた

②<1 点> 【①の影響】

- 干ばつが多い
- (エルニーニョ現象の影響などで)降水量が少ない年は不作になりやすい

③<1 点> 【②の世界への影響】

- 端境期の北半球への小麦輸出量が減る
- 北半球の端境期に小麦の供給不足が起こる
- 北半球の端境期に小麦価格が高騰する

(※「端境期」は「北半球」「大市場」「欧米」などの、
「オーストラリア以外の端境期」を明記していなければ加点しない)

(4) 3 点 ※ [指定語句] 外貨獲得 商品作物 転作 3 つ全て 下線付きで使用

☆☆ 指定語句不使用は、指定語句 1 つにつき 1 点減点。
ただし、解答中のどこかで使用していれば減点しない。
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

サヘルでは外貨獲得のために自給用穀物のミレット等から商品作物の落花生への転作が進み、砂漠化後の食料不足の一因となった。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)「c - ミレット」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【地域の呼称】

- サヘル

②<1 点> 【落花生栽培の目的】

- 外貨獲得のため／商品作物の生産／輸出用である

③<1 点> 【落花生栽培の問題点】

- 自給用穀物から落花生 (商品作物) への転作が進んだ
- 落花生 (商品作物) から自給用穀物 (ミレット等) への転作が進まない
- 自給用穀物の増産が進まない／食料不足が深刻である

(5) 3 点

米の輸出が盛んであることから、生産コストを下げ、国際競争力を高める必要があり、肥料や農薬の使用量を少なくしているため。

【加点ポイント】

①<1 点> 【単位収量が少ない理由】

○肥料の使用量が少ない／農薬の使用量が少ない

②<1 点> 【①の理由】

○生産コストを下げる／米の価格を低く抑える

○国際競争力を高める

③<1 点> 【②の背景】

○米の輸出が盛ん／輸出用に米を生産／米は商品作物である

設問 B

(1) 2 点

A－アメリカ合衆国 B－ブラジル C－インドネシア D－ウクライナ

※4 個正解 →2 点 1～3 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 3 点

原料が光合成で育つため大気中の二酸化炭素が増加しない。しかし、パーム油を得るアブラヤシ農園の造成は熱帯林を減少させた。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【液体バイオ燃料の意義】

- ・大気中の二酸化炭素を増加させない／カーボンニュートラルである
 - ・原料が光合成で育つ／原料生育時に二酸化炭素を吸収する
- ×「二酸化炭素を排出しない」
- } ○2 つ揃って 1 点

②<1 点> 【環境問題を引き起こす農産物】

○パーム油 (※解答のどこかで指摘していれば加点する)

×「アブラヤシ」のみ

③<1 点> 【②の引き起こす環境問題】

- ・(アブラヤシの) 農園の造成による／農園開発による／開墾による／増産
 - ・熱帯林の減少／森林減少／熱帯林の破壊／森林伐採／樹木伐採
- (※「生物多様性の損失」は問題文に既出のため加点しない)
- } ○2 つ揃って 1 点

(3) 3 点

重要な食料、飼料となる糖やデンプンの多い農産物がバイオエタノール用に大量消費されるようになり、食品価格が高騰したため。(2 行)

(次ページに続く)

【加点ポイント】

①<1 点> 【問題点】

- 食品価格が高騰した／畜産物価格が高騰した
- 食料不足となった／貧困層の食料事情が悪化した／栄養不足人口が増えた／飢餓人口が増えた

②<1 点> 【①の理由 1】

- 糖やデンプンの多い農産物（バイオエタノールの原料）は食料（食糧）でもある

③<1 点> 【①の理由 2】

- 糖やデンプンの多い農産物（バイオエタノールの原料）は飼料（家畜のエサ）でもある

第 3 問 (20 点)

設問 A

(1) 完答 1 点

- a - 高校生 b - 全就業者 c - 大学生

※(2)(3)(4)共通 語群（各問 2 つ以上 下線付きで使用）

近隣	高度人材	市場	就職	未婚率
専門的職業	中枢管理	中小企業	魅力	利便性

(2) 3 点

※ 上記語群から 2 つ以上 下線付きで使用すること（1 つ以下の使用は -1 点）
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

就業者の大半を占める 中小企業 に勤務する労働者の勤務地は、居住地の 近隣 にある傾向が高いため、人口の割合に最も近似する。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)「b - 全就業者」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【b のグラフの特徴】

- 人口の割合に最も似ている／人口の割合グラフとほぼ同じ
- 東京都の割合が少し東京都の人口割合を上回る

②<1 点> 【全就業者（企業）の特徴】

- 中小企業の勤務者が多い／企業の大部分を 中小企業 が占める
- 多くの 中小企業（就職先）が全国にくまなく立地する

③<1 点> 【判別理由について】

- 中小企業に勤務する労働者の勤務地は居住地の 近隣 にある
／就業者は企業の 近隣 に住むことが多い
- ／労働者の勤務地は同じ都道府県内であることが多い（魅力となる／利便性が高い）
- 東京都は 就職先が多い（ので人口割合より全就業者割合が少し高くなる）

(3) 3 点

※ 上記語群から 2 つ以上 下線付きで使用すること（1 つ以下の使用は -1 点）
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

世界的都市である東京は、空港への交通利便性が高く、高度人材の確保が容易で、多国籍企業の市場としても魅力的であるため。(2 行)

【加点ポイント】

★(1)「a」「b」「c」のいずれの解答も「外資従業員」でないことをを加点の前提とする

<3 点> 【東京が一極集中となる理由】

- 空港への利便性が高い／国際空港へのアクセスがよい／交通利便性が高い
／交通網が整備されている
 - 中枢管理機能を担う機関や企業が多い／大企業の本社機構が集中している
 - 高度人材の確保が容易／高度人材が多い／大学などとの連携がしやすい
／専門的職業の従事者が多い
 - 最新の情報が入手しやすい／東京は日本のトレンドを生み出している
 - 多国籍企業の市場としても魅力的／人口が多く購買力が高い
／高度人材を確保するための市場の役割
- ×「中枢管理しやすい」など、日本語的におかしいものは加点しない。

○1 つ 1 点
3 点まで

(4) 4 点

※ 上記語群から 2 つ以上 下線付きで使用する (1 つ以下の使用は -1 点)
下線の付け忘れは、複数あっても「1 問につき 1 点」のみ減点する。

東京で就学した学生が魅力ある専門的職業の雇用機会が多い東京で就職すると、東京一極集中と地方の人口減が加速する一方、未婚率の高い東京に若年層が集中して全国規模の少子化が更に進む。(3 行)

【加点ポイント】

★(1)「c - 大学生」の正解を加点の前提とする

①<1 点> 【大学生が東京に集中する影響】

- そのまま東京で就職する大学生が多い／大学生の就職先も東京に集中する
／地方に戻らず東京で暮らす若者が増える

②<1 点> 【①の理由】

- 専門的職業の雇用機会が多い／魅力のある大企業が多い／就職先が多い
／地方より雇用機会が多い／地方は中小企業が多く魅力が乏しい
／東京は地方より利便性が高い

③<1 点> 【①の人口分布への影響】

- 東京への人口一極集中が加速する／地方の人口減が加速する／東京と地方の人口格差が拡大する
／東京はより大都市となり地方は過疎化が進む

④<1 点> 【①の人口構造への影響】

- 未婚率の高い東京に若年層が集中し少子化 (少子高齢化) が更に進む
／東京では単身者や未婚者が多く更に少子化が進む
／東京は結婚や子育てにあまり適さず更に出生率が下がる可能性がある

(※「少子化・出生率の低下」とその「理由・背景」で 1 点)

設問 B

(1) 3 点

イー埼玉県 エー沖縄県 カー大阪府 クー宮城県 (※「県」「府」ヌケも可)

※4 個正解 →3 点 2～3 個正解 →2 点 1 個正解 →1 点 0 個正解 →0 点

(2) 3 点

雇用機会を求めて大都市のⅢ群に全国から人口が流入したが、その後地価の高騰や生活環境の悪化で郊外のⅠ群に人口が流出した。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【Ⅰ群とⅢ群の人口推移の関係】

○Ⅲ群に多くの人口が流入したが、その後Ⅰ群に流出した

／Ⅲ群に流入した多くの人がⅠ群に移り住んだ

○Ⅲ群の人口が急増したがドーナツ化現象が起こってⅠ群に流出した

×「Ⅲは減少、Ⅰは増加」のように、

ⅢからⅠへの人口の流れが、答案の文意からわからない場合は加点しない。

×「大都市圏では～、その周辺部では～」のように、

ⅠやⅢがどちらに該当するか明示していない場合は加点しない。

②<1 点> 【Ⅲ群の人口増加の背景】

○雇用機会を求めた／高度経済成長期であった／Ⅲ群で工業化が進んだ

／向都離村が起こった

③<1 点> 【Ⅰ群の人口増加の背景】

○地価の高騰／Ⅲ群の生活環境の悪化／Ⅰ群は地価が安い／Ⅰ群がベッドタウンとなった

／交通網の発達

(3) 3 点

大企業の支店や政府の出先機関が集中する地方中枢都市が存在し、対事業所サービス業を中心に広域の拠点として機能している。(2 行)

【加点ポイント】

①<1 点> 【Ⅳ群の都市機能】

○大企業の支店が集積する／政府の出先機関が集中する／広域（地方）の拠点となる

／地方の結節点／流通や交通の面での中心

②<1 点> 【①の名称】

○地方中枢都市／地方中枢拠点都市／広域中心都市／地方中核都市／中核市／大規模拠点都市

③<1 点> 【産業の特色】

○対事業所サービス業が盛ん／情報サービス業が盛ん／卸売業が盛ん